

令和6年度支援計画 振り返り

SORA

令和 7 年 4 月 1 日

創作的活動を通して物を作ることの楽しさを感じる。

活動目標 散歩や運動を通して体力をつける。

様々な活動を通して興味の幅を広げる。

受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

5領域	ねらい	支援内容	まとめ
健康・生活	健康状態の維持・改善	健康状態の把握	手洗いやうがいが習慣化するように支援を行ったり、マスク着用の際は鼻まで隠すよう声かけを行ったりすることで身に付けることができた。家庭との連携を図れるよう連絡帳を活用したり、電話、引継ぎ時などこまめに健康状態の把握を行った。また、季節に合わせてその都度帽子やタオルを使用したり気温に合わせて衣服の着脱を行い健康管理を行った。手作りのおやつを調理する活動では衛生面に配慮し材料を入れる、混ぜるなどの体験を行った。
		健康の増進	
	生活リズムや生活習慣の形成	リハビリテーションの実施	
		基本的生活スキルの獲得	
運動・感覚	基本的生活スキルの獲得	構造化等により生活環境を整える	正しい姿勢について見本を見せて姿勢を意識したり保持したりすることができていた。イベントや様々な活動を通して列に並ぶ、待つといった集団生活におけるルールを身に付けることができた。 室内でストレッチや体操をすることで体幹を鍛えたりバランス感覚を養ったりすることができ、屋外では散歩やウォーキングを重ねることで体力向上に繋がっていた。
		姿勢と運動・動作の向上	
	姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	
		身体の移動能力の向上	
	保有する感覚の総合的な活用	保有する感覚の活用	
		感覚の補助および代行手段の活用	
認知・行動	保有する感覚の総合的な活用	感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応	製作活動では、はさみの安全な使い方を知る機会を設けた。線で切る箇所を示したり職員が見守り必要に応じて手を添えたりすることで安全に切ることができた。 体育館活動では、色探しゲームを通して様々な色を見つけたり色の名前を知ったりすることができた。 玉入れゲームでは、箱に入った玉の数を数えることにより数の概念が身に付き、様々な場面で数を数えることを楽しむようになった。
		認知や認知の活用	
	認知の発達と行動の習得	知覚から行動への認知過程の発達	
		認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	
	空間・時間、数等の概念形成の習得	数量、大小、色等の習得	
		認知の偏りへの対応	
言語・コミュニケーション	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	行動障害への予防及び対応	イベントや散歩などを通じて地域の方に進んで挨拶することができた。長期休暇やイベント後には振り返りを行ったり人前に出て楽しかったことや頑張ったことの発表会を行ったりして自分の気持ちを他者に伝える機会を設けた。本人の気持ちを汲み取り、個々に合わせてハンドサインを用いたり二語文での伝え方を職員と一緒に練習することでコミュニケーション能力の向上に繋がった。
		言語の形成と活用	
	言語の受容及び表出	言語の形成と活用	
		受容言語と表出言語の支援	
	コミュニケーションの基礎的能力の向上	人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	
		指差し、身振り、サイン等の活用	
人間関係・社会性	コミュニケーション手段の選択と活用	読み書き能力の向上のための支援	体育館での集団活動では競い合ったり他者を応援したりすることで仲間意識が高まった。 散歩やイベントの際には図書館や公園などの公共場所や、電車やバスなどの公共交通機関を利用することで様々な人と関わる機会を多くもつことができた。 かるたやUNOなどのカードゲームを用いて小集団で遊ぶことでルールを身に付け他者と一緒に取り組むことの楽しさを味わうことができた。
		コミュニケーション機器の活用	
	他者との関わり(人間関係)の形成	アタッチメント(愛着行動)の形成	
		模倣行動の支援	
	自己理解と行動の調整	感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援	
		一人遊びから協同遊びへの支援	
	仲間づくりと集団への参加	自己の理解とコントロールのための支援	
		集団への参加への支援	

1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。

2 印はイベントを想定した支援内容になります。